

平成 18 年 7 月 吉日

各 位

原爆放射線医科学研究所  
国際放射線情報センター長  
(共同研究記念事業実行委員長)  
大 瀧 慈  
文 書 館 長  
小 池 聖 一  
平和科学研究センター長  
松 尾 雅 嗣

広島大学 共同研究記念シンポジウムのご案内

謹啓 猛暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別の御高配を賜り、  
ありがたく厚く御礼申し上げます。

「平和を希求する精神」を理念 5 原則の第一に謳っております広島大学は、去る 6 月 20 日の  
報道発表でも御存じのとおり、新たに設けた平和担当副学長を中心に、この精神を具現化し広島  
大学の平和研究の更なる推進のため、新たな一歩を踏み出そうとしております。

われわれ原爆放射線医科学研究所国際放射線情報センター、文書館、平和科学研究センターの  
三機関は、この体制構築の推進役を果たす学術拠点となるべく、このほど「核の被害と復興」に  
かかわる諸研究を軸にした共同研究記念事業を立ち上げることにいたしました。

つきましては、左記により記念講演ならびに記念シンポジウムを開催いたしますので、御多忙  
の折柄とは存じますが御来臨の栄を賜りますよう御案内申し上げます。 謹言

記

日 時 平成 18 年 7 月 24 日 (月) 13 時 30 分～17 時 00 分 (13 時開場)

共同研究記念シンポジウム

「核被害をなくすため、広島は何ができるか」

◇記念講演

石栗 勉 氏 (国際連合アジア太平洋平和軍縮センター所長)  
「核問題と多国間努力」

◇記念シンポジウム

パネリスト 平岡 敬 氏 (前広島市長)  
星 正治 氏 (原爆放射線医科学研究所教授)  
梅林宏道 氏 (ピースデポ代表)  
石栗 勉 氏 (国際連合アジア太平洋平和軍縮センター所長)  
司 会 松尾雅嗣 (平和科学研究センター長)

場 所 広島大学広仁会館 広島市南区霞 1-2-3

以上

共同研究記念事業実行委員会事務局

原医研国際放射線情報センター (川野徳幸)

電話・FAX 082-257-5878